令和8年度 河川・道路等愛護活動支援意見交換会（福岡地区）

九州地域づくり協会では、支援団体の方々の更なる活動の励みやモチベーションの向上に繋げていただくために、これまで令和4～6年の3年間、九州7県全体での「公益目的支援事業活動交流発表会」を開催してきました。

その中で参加者の皆さんからの「もっと多様な意見が出せる仕組みが必要」「現地での現場視察や意見交換会がしたい」「人前で発表をするのは苦手」等のご意見をいただき、令和7年度より支援団体の皆さんの元に足を運び、**より身近に対話ができる現地調査と意見交換会**を開催しています。

令和8年度は10月28日（水）に**大牟田市**で開催し、福岡地区の支援団体7団体17名、大牟田市長をはじめ市役所職員5名、福岡国道事務所職員6名、協会関係者9名の計37名が参加しました。

現地調査

国道208号沿いで活動をされている4団体の代表者に、普段の活動において工夫していることや花植えへのこだわりなどを説明していただきました。



日出町花咲かせ隊　江上さん



雑草対策のために
防草シートを敷いた花壇



不知火町公民館　山口さん と 船原さん



丈のある植物のまわりに背の低い花を植え、
立体的でボリュームのある花壇

水が外側に流れやすくなる
効果もあります！

「気軽に参加」「人とのつながり」
「楽しく活動」を大切に活動！

無電柱化され
広々とした道路景観



大牟田市民憲章推進委員会　城戸さん



活動時に大牟田市民憲章を
唱和して一致団結！



白川サポータークラブ　田中さん



車道側に明るい色の花を植え
車からも目立つように工夫

一般社団法人
九州地域づくり協会
Kyushu Regional Management Service Association

意見交換会

現地調査の後は、大牟田市役所の会議室へ移動し「活動の自慢」をテーマに、3班に分かれてグループワーク形式で意見交換会を行いました。

皆さんからは「他団体がどのように活動をしているのか知ることができ、とても参考になった」「団体同士での交流にもなり、よい機会となった」「共通の悩みでも、アプローチ方法はそれぞれあることを知った」「前向きに次の活動に繋げていきたい」などのご感想をいただきました。


（一社）九州地域づくり協会
喜安 理事長


大牟田市
副枝 副市長


公益目的支援事業審議委員会
玉川 委員長


公益目的支援事業審議委員会
荒牧 委員


福岡国道事務所
中屋 事務所長

【 参加団体 】

- 日出町花咲かせ隊
- 白川サポータークラブ
- 大牟田市民憲章推進委員会
- 不知火町公民館
- 野多目大橋花クラブ
- 久大生コン内環境美化委員会
- よしいコスモス街道実行委員会


各グループごとに行った発表


グループワークの様子

活動の自慢

●交流をしながら楽しく活動できていること
●長年、継続して活動していること
●子どもたちや地域の方々を巻き込んで活動している
●バラを育てていること
●一人一人が自発的に動いている　など



工夫していること


活発な意見が交わされます

●作業前と作業後の写真をLINEやInstagramで共有して、成果が分かりやすいようにしている
●その人が得意な作業をしてもらうなど、できる人ができることを担い、無理なく協力して行う
●SNSで募集をして、気軽に手ぶらで参加できるようにしている
●早朝に作業時間を決めて活動している
●夏の暑さや水切れに強い花、根の強い植物を選んでいる
●道路沿いではビブスを着用して、車に速度を落としてもらうなど安全確保をしている
●行政に相談をして水道を引いてもらった
●その地域に限らず広範囲に声をかけ、町外からの参加も募る
●人を動かすには話し方、話術が大事　など

皆さんの「地元をきれいにしたい、よりよいものにしたい」というあたたかい思いで行う花植えや清掃は、道にごみを捨てる人の減少にも寄与しており、美しい景観の維持だけではなく、地域の活性化にも繋がっていくものだと感じました。

また、バラの植栽に詳しい団体との橋渡しをしたり、交流の輪が広がるよい契機となりました。

今回は、日頃より団体の皆さんをサポートしている大牟田市や福岡国道事務所と連携を図り、円滑で充実した意見交換会を開催することができました。



皆さんで記念撮影